

愛知銀が知財活用 融資の第1号

グローバルエン ジニアリングに

愛知銀行は、バイオ事業などを手掛けるグローバルエンジニアリング（本社名古屋市、荒川健一社長）に対し、所有する特許を評価して、このほど融資を実行した。特許など企業が所有する知的財産を評価して融資する事例としては同行として第1号となる。

グローバルエンジニアリングは、乳酸菌などをもとに動物の免疫力を高めるサプリメント（栄養補助食品）の開発に関する特許を保有している。今回は、特許庁が取り組んでいる中小企業の知的財産を無料で評価する制度を活用。知的財産の価値を示す「知財ビジネス評価書」を融資判断の材料とした。融資額は1億円。

審査部管理グループの近藤博グループリーダー審査役は「企業をよく知るためにも知財の内容を把握し、事業性評価につなげていきたい」と話している。

同行は昨年1月、知的財産評価を手掛けるパテント・ファイナンス・コンサルティング（東京）と業務提携し体制を整えている。